



いっとうますと ぼう
一斗枴・斗かき棒

昭和時代

一斗枴は、穀類の体積を量る容器で、ご飯茶碗約 200 杯分の量のお米が入りました。

斗かき棒は一斗枴と一緒に使い、この棒を使って枴の縁にすりきりました。

1 合 = 150g

ご飯茶碗 2 杯分

1 升 = 10 合 (約 1.5kg)

ご飯茶碗 20 杯分

1 斗 = 10 升 (約 15 kg)

ご飯茶碗 200 杯分

郷土資料館蔵